

Sustainable/ 持
続可能

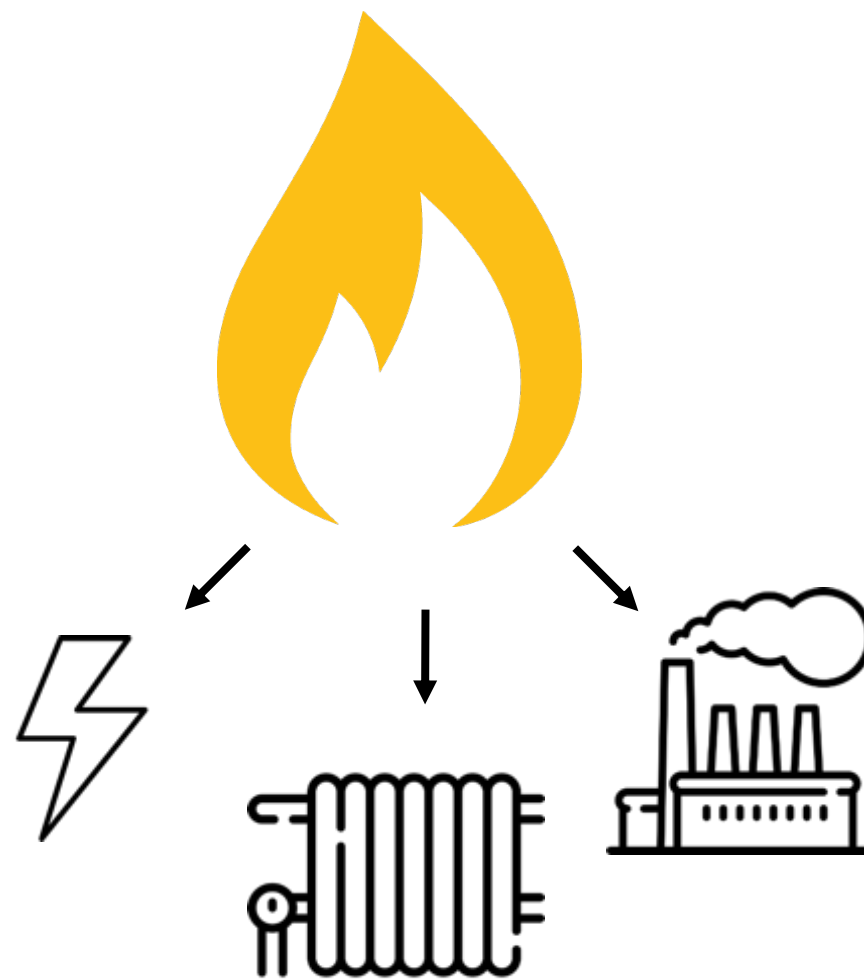
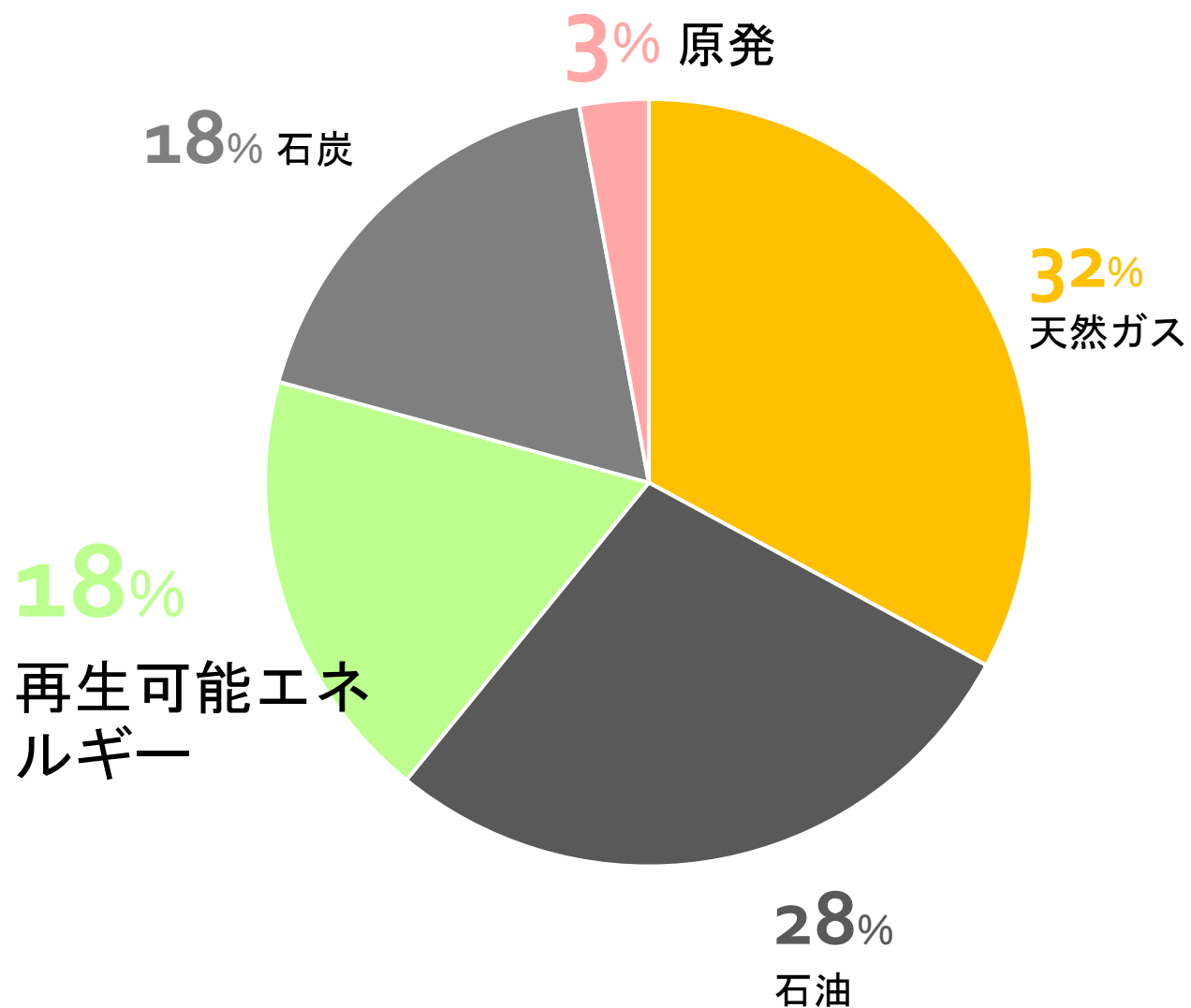
ドイツのエネルギー政策に関する最新情報 タクソミーと原発に関する議論

Image: BUND

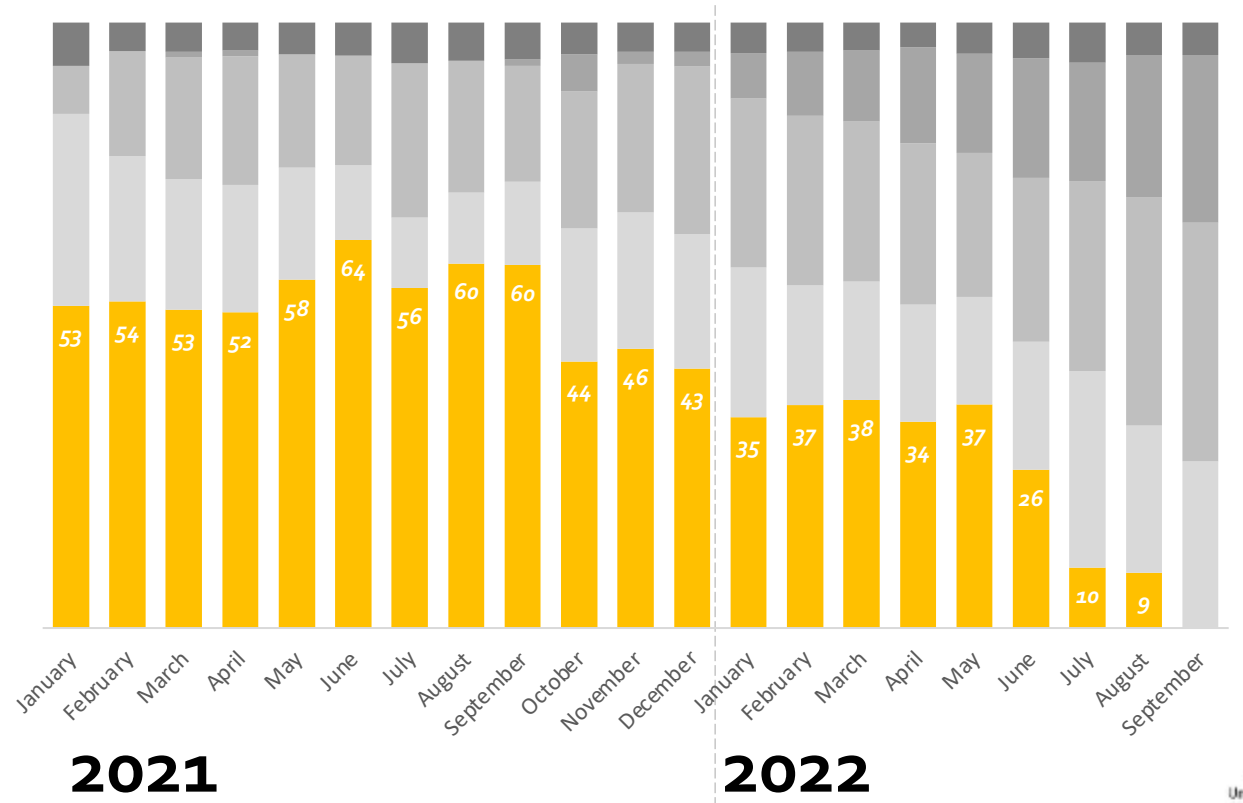
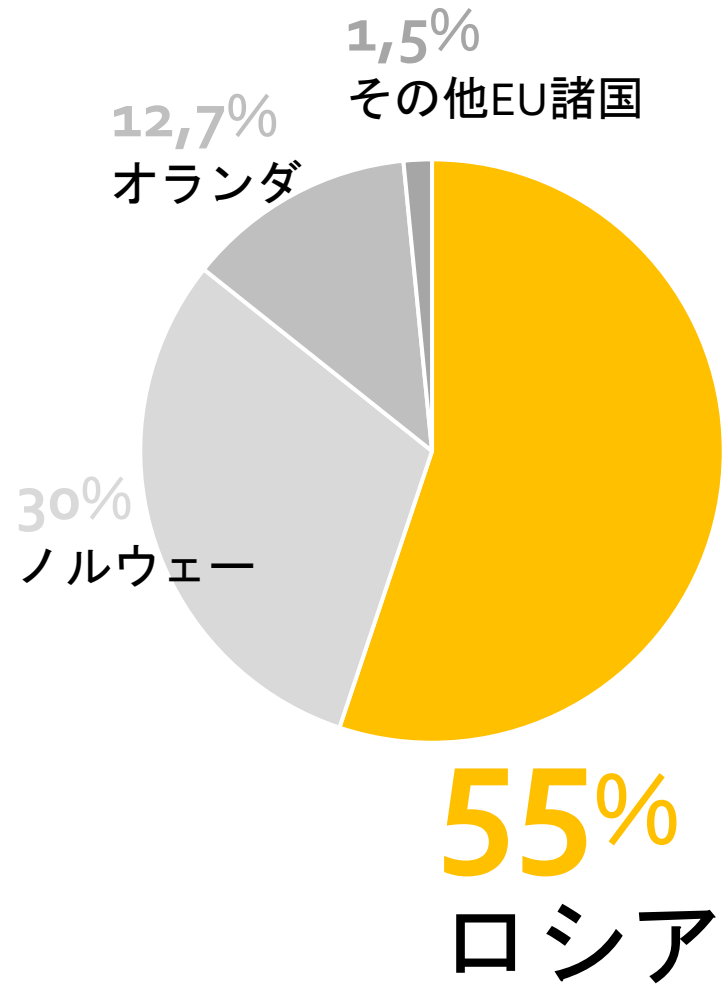
Jan Warode ヤン・ヴァローデ 原子力政策キャンペーナー FoEドイツ
Campaigner Nuclear Energy Politics, Friends of the Earth Germany

29/09/2022

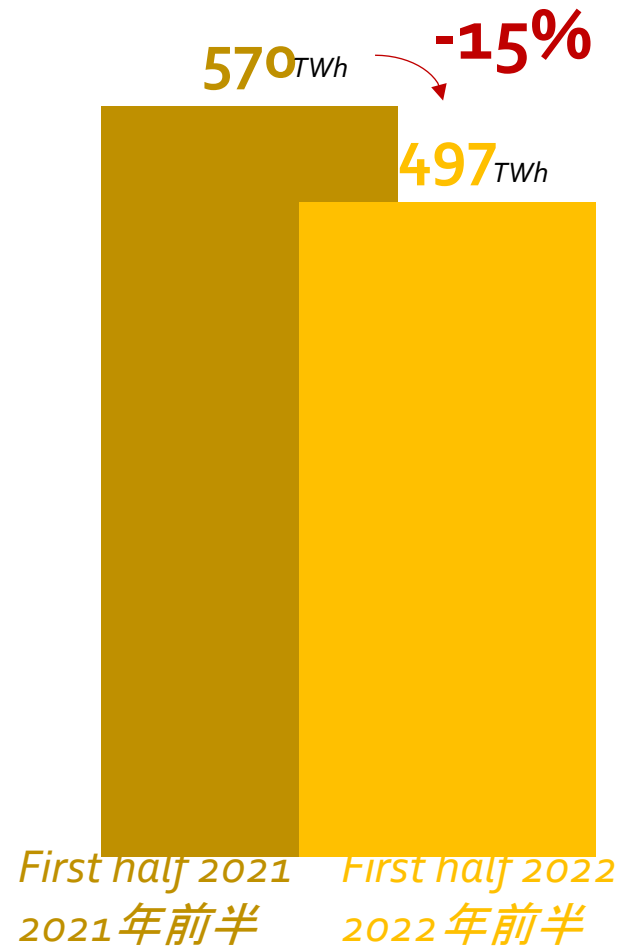
一次エネルギー消費



ドイツにおける天然ガスの輸入先



ガス消費

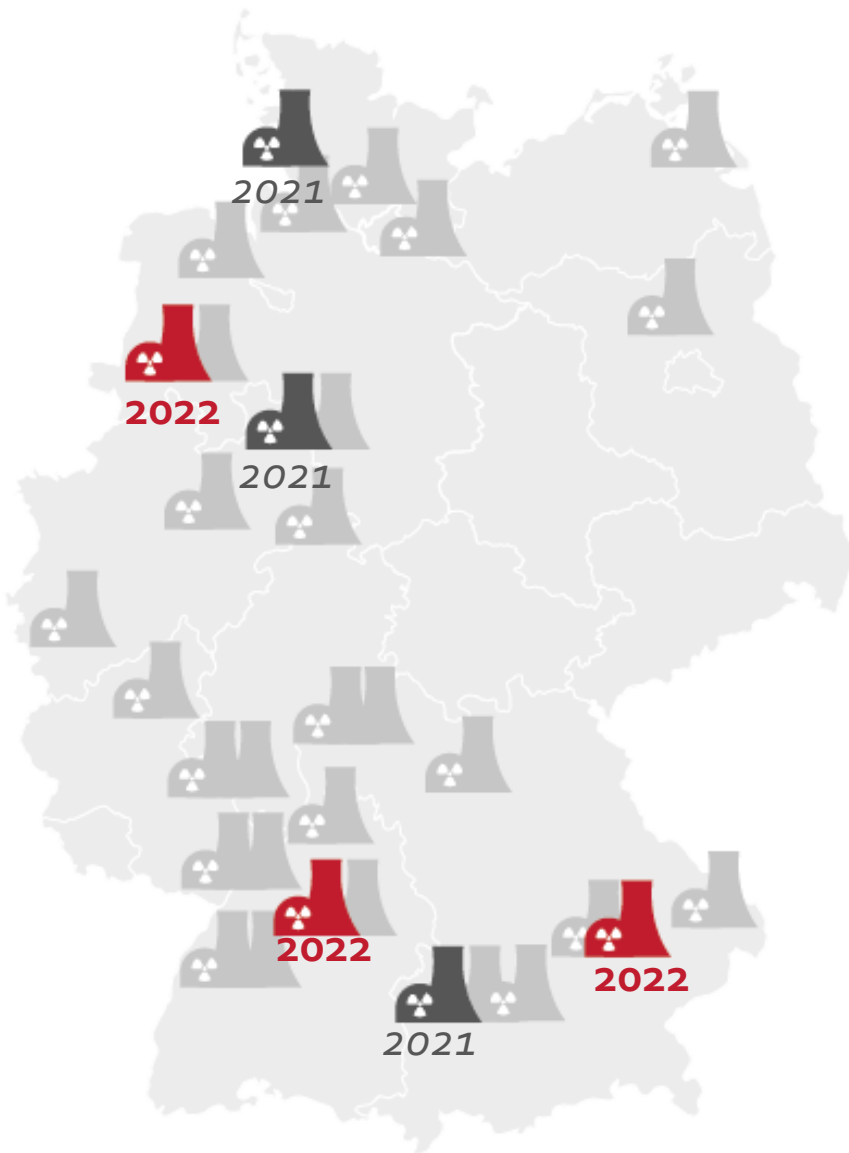


- 気温による消費量減少分: -7%
- ガス貯蔵レベル : 90%

課題と批判

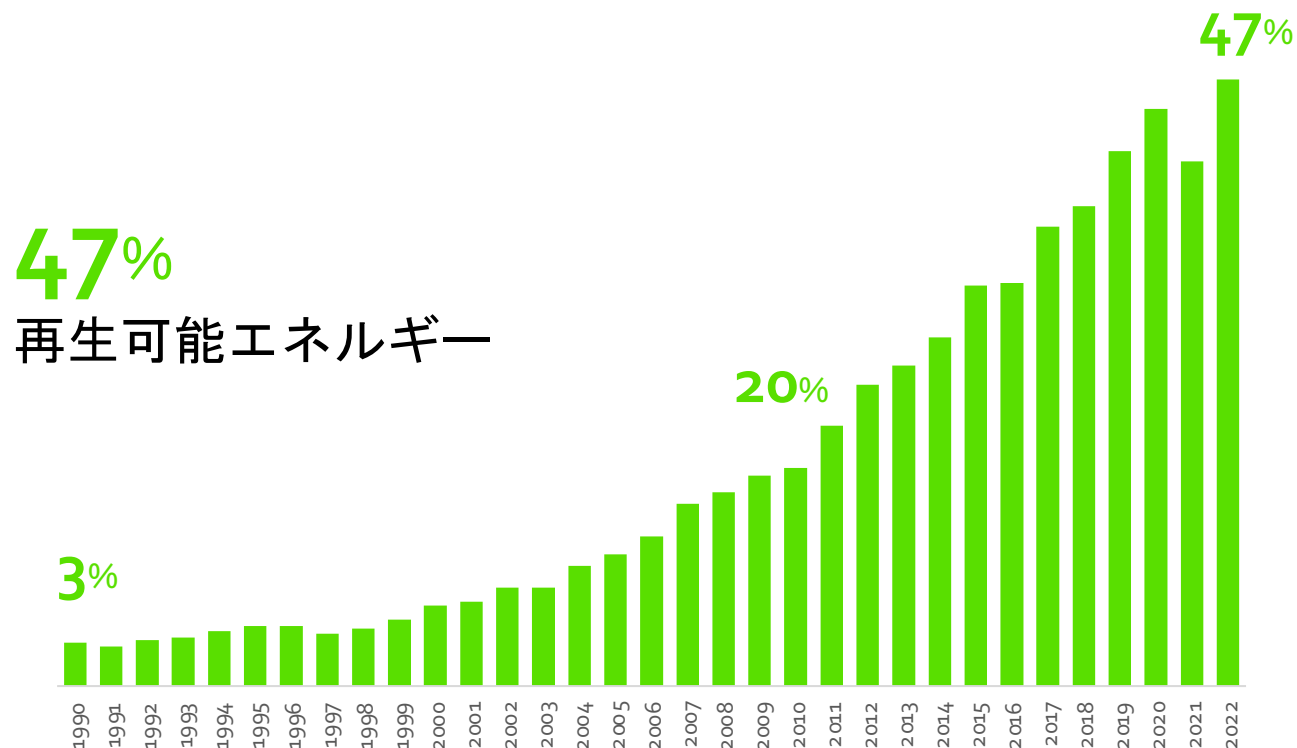
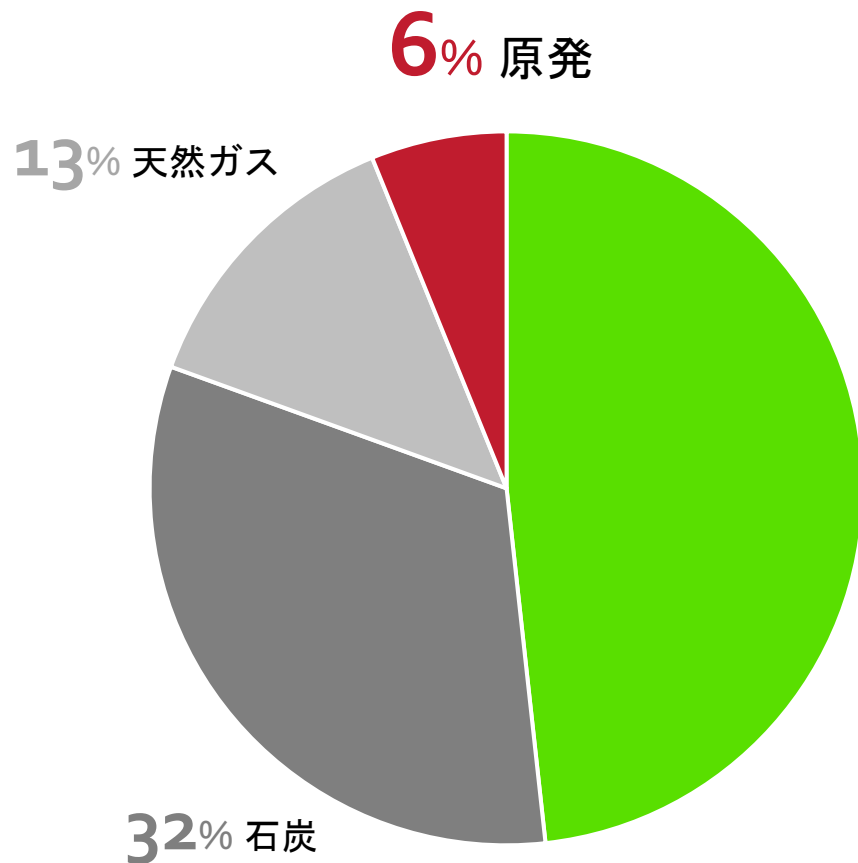
- 必要とされるガス消費抑制: 20-25%
- 高い電気代とガス代
- 石油・石炭回帰
- LNGターミナル
- 省エネルギー

ドイツの原発



- 2000年と2011年の脱原発決定
 - 徐々にフェーズアウト
 - **3つの原発**の稼働は2022年12月まで
 - ウラン濃縮工場と燃料工場は運転継続
- 原子力法 - “脱原発法”
- 放射性廃棄物は16の原子力発電所などの中間貯蔵施設で貯蔵
- 廃棄物のための最終処分施設は今の所ない

ドイツの発電



原発をめぐる議論



SPD、緑の党、省庁、環境団体は稼働延長に反対

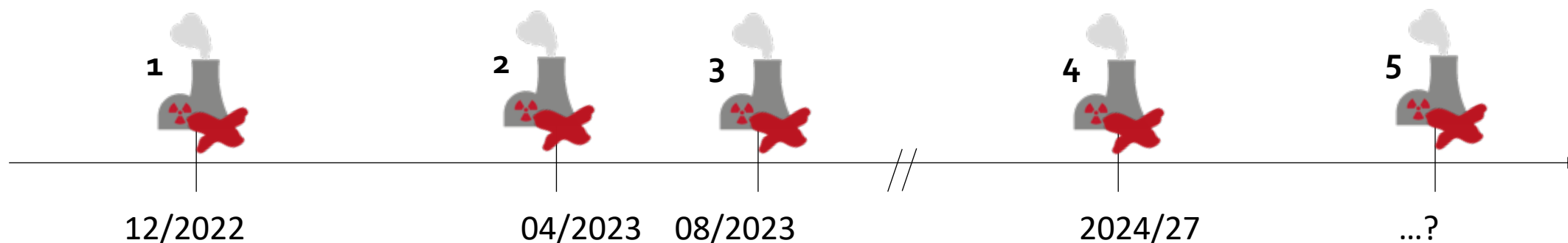


CDUやFDPの一部は延長に賛成 世論の変化

原発をめぐる議論

原発をめぐる論点

- 1. 2022年12月までに最後の3つの原発を閉鎖する
- 2. 予備電源として保存
- 3. 3つの原発の運転を延長
- 4. 3つもしくは6つの原発の稼働年数を延長
- [5. 新たな原発の建設]



原発はエネルギー危機の助けにならない

- ガスやガス発電の代替としても効果はわずか：ガス消費の0.2~0.6%を減らすだけ
- 発電部門における影響もわずか：総発電量の1%以下の貢献、
- 電力市場価格への限定的影響、0.5~0.8%の価格減少にしかない



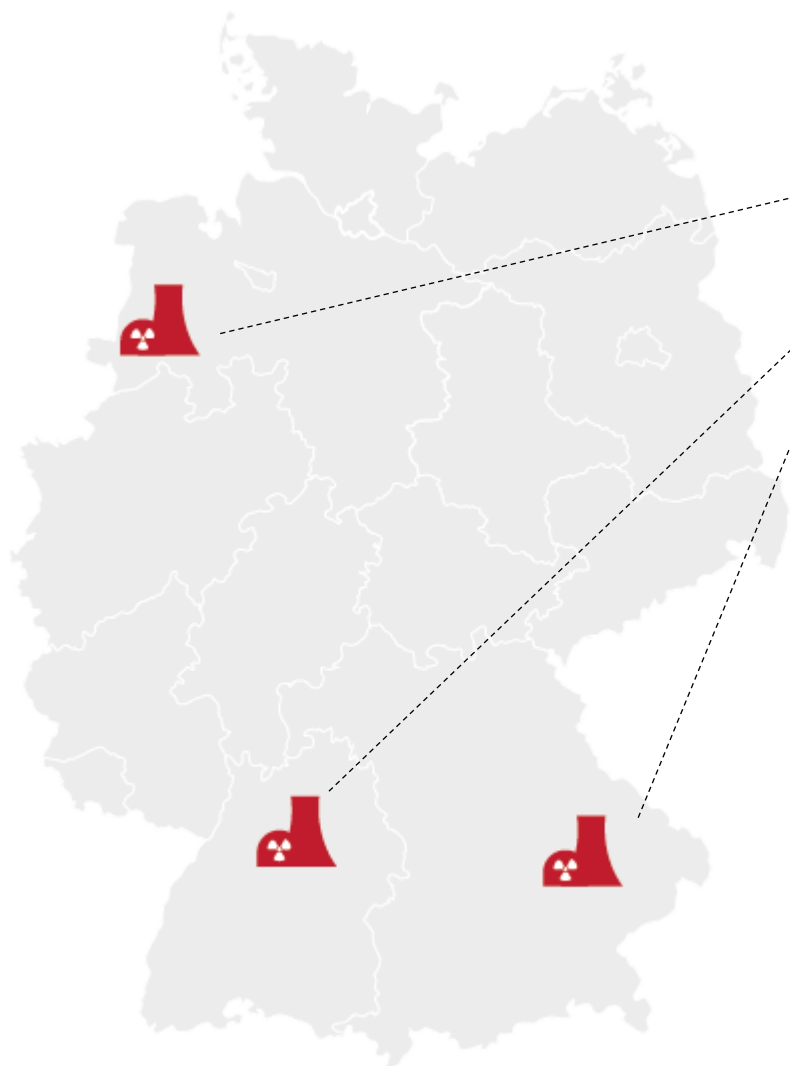
原発はエネルギー危機の助けにならない

利益よりもセキュリティ上のリスクが上回る

- 定期安全レビューが13年間行われていない – ドイツ原子力エネルギー法, EU法
 - 蒸気発生熱チューブで劣化が発見されている（エムスラント原発とネッカーヴェストハイム原発2号機）
 - 稼働年数33～34年
 - ウクライナの原発:新たなセキュリティ上の懸念
- 延長ではなくすべての原発の廃止を！



原発はエネルギー危機の助けにならない



エネルギー省

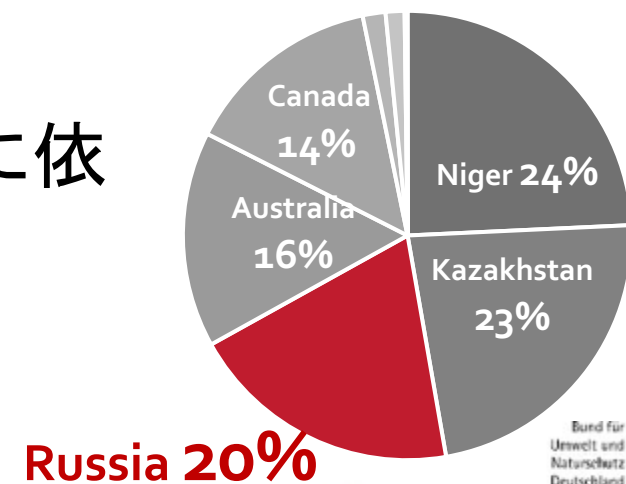
- KKE（エムスラント原発）：2022/12に閉鎖
- GKN 2（ネッカーヴェストハイム原発 2号機） and KKI 2（イザール原発 2号機）：2023年4月まで予備力

しかし

- 原発を継続運転させる技術的正当性なし
- 原発の寿命を複数年延長させるリスク
- 議論が「誤った対策」に集中している

欧州はロシアのウランに大きく依存している

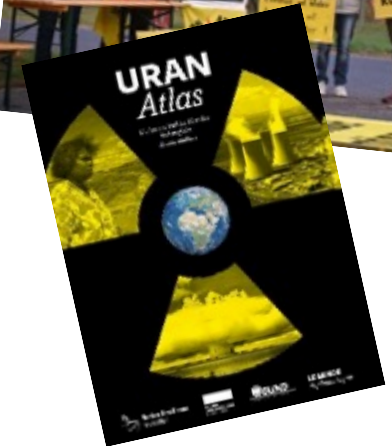
- ロシアは世界におけるウラン転換施設の40%を所有している
- ...世界におけるウラン濃縮キャパシティの46%
- 欧州の輸入ウランの20%はロシアから
- ロスアトムは世界2位のウラン生産者
- ロスアトムは現在35の原発の建設に関わる
- EUにある原発のうち18基は完全にロシアの燃料に依存



Origins of uranium delivered to EU utilities in 2021 (%)

欧州はロシアのウランに大きく依存している

- ロスアトムグループの子会社であるNUKEM Technologiesが原発の廃止業務をおこなっている
- 脱原発方針にもかかわらず、グローナウにおけるウラン濃縮とリンゲンにおける燃料製造施設は稼働を継続
- ロシアによるウクライナ侵攻以前は
 - ロスアトムとリンゲンのANFの間で合併事業が計画されていた
 - ウラン濃縮で出る廃棄物をロシアに輸出する計画
- 2022年9月：濃縮ウランがロシアからリンゲンに輸送された
- 原発セクターについてもEUは制裁を！



タクソミーに関するアップデート

- EUタクソミー：
 - 持続可能な経済活動を科学に基づいて分類するEUの規制
 - EUタクソミーはグリーンウォッシュを防ぐべき
- 原発と天然ガスに関する論争
- 欧州委員会とEU議会は原発とガスをタクソミーに含めると決定（7月6日）
- オーストリアとルクセンブルクは法的アクションもちらつかせる
- このタクソミーは2023年に発効



ガスと原発に関するCDA(タクソノミー補完的委託法令)

EUタクソノミーにおける持続可能性：

- 新規原発と古い原発を改修したものの運転延長（2045年までに許可が出ているもの）
- 条件：2050年以降の原発廃棄物の処理計画がある、BAT（利用可能な最善の技術）、最終処分所のための資金、CO₂基準遵守
- ガス発電：2030年までに建設許可が出ているもの
- 条件：年平均排出の基準遵守、および水素への段階的転換



ガスと原発を「グリーン」とすることに対する反応

- 金融セクターはほとんど受け入れていない
- NGOやFFF,市民社会は反対
- このトピックに関する関心の低下
- ドイツ政府はこの決定に反対を示したが、特法的行動には出ていない
- Legal action 法的アクション
 - Client Earth, WWF and BUND
 - Greenpeace

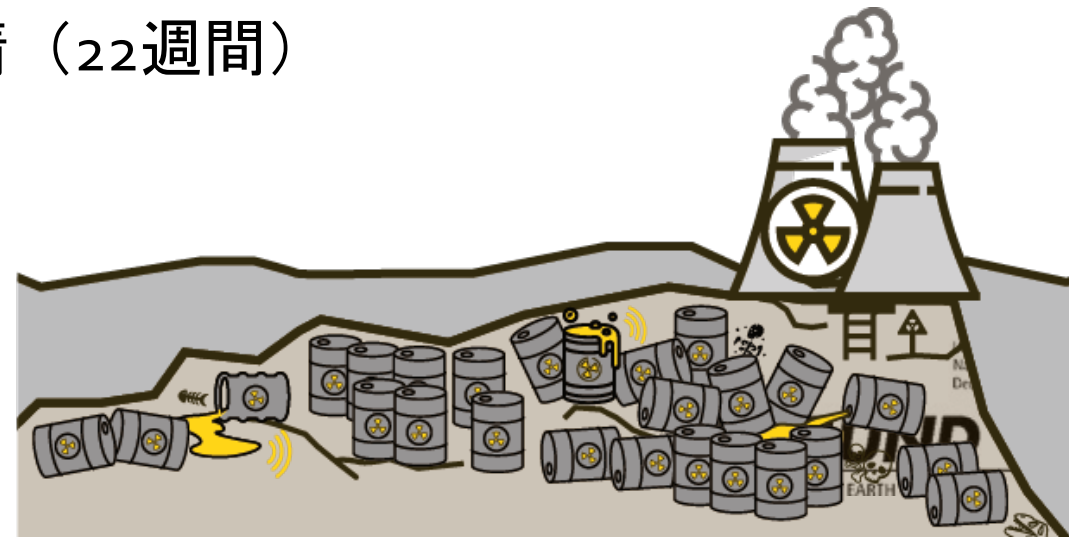


LEGAL ACTION 法的アクション

- 原発は「重大な害を及ぼさない（DNSH）」原則に反する
- 化石燃料ガスは、環境目標に大いに反し、気候変動を加速させる

Legal challenge 法的アクション

- BUND : CDAはその他のEUの法律と矛盾する。とくにタクソノミー規則そのものと欧州気候変動法
- 欧州委員会に対しCDAを撤回するよう要請（22週間）
- EUの司法裁判所に裁定求める



結論と展望

- 現在のエネルギー危機が原発に関する議論を盛り上げた
- セキュリティに関するリスクが考慮されていない。しかしリスクは利益を大幅に上回る
- 政治的議論は終わっておらず、リソースと結びついている
- 原発はとても危険で持続可能ではない
- 欧州の原発はロシアの原発産業に大きく依存している
- 原発とガスはタクソミーの根本的な考え方と矛盾する
- 全ての原発を閉鎖すべき！
- いまこそ省エネと再エネを！

ありがとうございました



www.aktion.bund.net/eu-taxonomie

Jan Warode

Campaigner Nuclear Energy Politics

Bund für Umwelt und Naturschutz Deutschland (BUND)

Friends of the Earth Germany

Kaiserin-Augusta-Allee 5, 10553 Berlin

Jan.warode@bund.net